



学校だより 学期末号

令和5年3月23日・24日

杉並区立済美養護学校

校長 伴 比佐志

<http://www.suginami-school.ed.jp/seibiyougo/>

本日をもって、令和4年度の済美養護学校の教育活動が終わります。児童・生徒の学習のまとめとして、個別指導計画の評価及びあゆみを持ち帰っております。この1年の学習の成果をお読みいただき、御家族とお子さんでぜひ共有し、大いに褒めてあげてください。

春季休業があけた4月からは、新しい年度になります。児童・生徒は、新学年にひとつ歩みを進めます。そして、新型コロナウィルス感染症に関する対策が、大きく変わることになります。新生活に期待をもち、気持ちも体もリフレッシュして、また4月に児童・生徒に会えることを楽しみにしております。令和4年度の学校教育への御理解と御協力を、まことにありがとうございました。

<令和4年度杉並区立済美養護学校卒業式における校長式辞>

小学部16人、中学部12人の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。

保護者の皆様、お子様の御卒業、まことにおめでとうございます。

今、お子様たちが、人生の節目を迎えられたことに、喜びはひとしおのことと思います。この日まで、本校の教育活動につきまして、多大なる御理解と御協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さんは、とても立派に卒業証書を受け取ることができました。その姿は、小学部・中学部の締めくくりに、ふさわしい姿でした。

卒業生の皆さんは、新型コロナウィルス感染症によって、学校生活にさまざまな制限がありました。特に、中学部を卒業する皆さんは、予定していた日に入学式ができなくなり、5月末まで自宅待機を強いられる状況でした。

このような新しい生活様式と言われた3年間であっても、ここに卒業を迎えた皆さんは、心と身体が大きく育ち、確実に自立の力がつきました。

小学部を卒業する皆さんは、4月からは中学生です。一人一人のよいところをさらに伸ばしていきましょう。仲間と一緒に力を発揮して、済美養護学校の中学生として活躍してください。

中学部を卒業する皆さんは、4月からは高校生です。済美養護学校で学び身に付けた自立の力を、進学先の学校でしっかりと発揮してください。済美養護学校の教職員一同、心から応援しています。

人は、さようならの数だけ、愛を知ることができます。その愛を知り、新たな目標に向かい前を向き、しっかりと確実に歩を進めてください。

本日巣立つ、卒業生の健康とこれからの活躍を祈り、校長の式辞とします。

令和5年3月24日 杉並区立済美養護学校長 伴 比佐志